

資料 1

危険な植物メリケントキンソウ（キク科）

原産地	南アメリカ
発芽	一般的に秋（10月ごろ）ときに春（3月ごろ）
開花	4～5月（直径は10mm程度で薄い黄色）
結実	5～6月（危険な時期）
生育地	公園、路傍、空き地、芝生、家庭の庭など地肌が見える明るい場所
高さ	5～10cm（草が混み合う場所では高くなる）
特徴	小さな草で、明るい緑色をしている。枝を出すのが、競争相手がいないと横に広がり、混み合う場所では高くなる。枝に花をつけるのが大きな特徴で、よく似たシマトキンソウは枝を出さず、地際に花をつける。果実には2mmくらいのトゲがあり、これが肌を刺す。果実は熟すとバラバラになりやすく、靴などに刺さり広がっていく。

- 駆除
- ・花がまだ無い株で少なければ、手で取るか草かきなどを使う。
 - ・時期、場所によっては刈り払い機でも可能。
 - ・除草剤が使えるところは除草剤を使う。
 - ・芝地などでは選択性の除草剤を使う（園芸店に相談した方が良い）。
- トゲが硬くなる前（4月末まで）に駆除するのが望ましい。



発芽して間もない様子



現在の様子



枝についた花



果実が熟し危険な状態



類似種のシマトキンソウ（左）とメリケントキンソウ（右）